

バス脱輪 **ボルト8本が折損**

◆**運行前点検時、タイヤ、ホイール、ナットの安全確認**◆

2015年5月9日（土）12時3分

5日に青森県で路線バスから**右後方のタイヤ2本が外れた**問題で、タイヤを固定する車両側の**ボルト8本が全て折れていた**ことが分かった。

バス会社は他の路線バスの緊急点検を進めるとともに、バスメーカーの協力も得て折損の原因などを調べる方針。

発生から30日以内に、東北運輸局青森運輸支局へ**事故報告書を提出**する。

バス会社によると、タイヤは直径約1メートルで、1本の重さが約100キロ。

内側のタイヤを車軸のボルトで固定し、外側のタイヤは内側のタイヤとホイール部分をボルトで固定する構造だった。

脱輪の経緯は不明だが、2本のタイヤは別の場所に転がっていた。

バス会社はいずれかの**ボルトを締めるナットが走行中に緩み**、タイヤが不安定になった可能性もあるとみている。

バスは4月23日に**冬タイヤを交換**。

交換時やその後の点検でも異常はみられなかったという。

1995年の製造で、中古で購入した。